

令和 2 年 3 月 13 日

岡山大学病院で看護師特定行為研修を開講 ～より適切なタイミングで医療・看護を提供するために～

◆発表のポイント

- ・看護師特定行為は、看護師が手順書により行う診療の補助業務で、38 行為あります。
- ・岡山大学病院では年間約 9,700 件の手術を行っている特徴から、4 月より、8 行為の術中麻酔管理領域別パッケージ研修と 15 行為の外科術後病棟領域別パッケージ研修を開始します。
- ・高度な治療を行う現場では、特定行為看護師が医師と連携することで、より適切なタイミングで患者に医療・看護の提供が可能となります。

岡山大学病院は、高度な医療を提供しており、特にハイリスク手術を多数実施している病院です。そのため術中・術後の管理には優れた人材を必要としています。看護師においては、専門看護師^{注1)}や認定看護師^{注2)}を配置し、安全な手術、早期回復を実施しています。

今後は、特定行為を行う看護師を育成・配置し、医師と連携をとりながらタイムリーな医療・看護を患者に提供し、より安全な手術と早期回復を目指します。また、他施設からも研修生を受け入れることで、他施設の看護の質向上や地域医療の推進にも貢献していきます。

■発表内容

<導入>

少子高齢化が進み、訪問看護を含む地域医療が重要になってきました。しかし訪問看護では、早く処置を行えば早く良くなると分かっているにもかかわらず、医師がいないため、医療行為を行えない看護師だけでは処置が遅れることがあり、問題となっています。これに対し、特定の行為について講義、演習、実習を通して行為に必要な知識・技術・態度を習得した看護師を育成し医療行為を可能にすることで、患者にすみやかに医療・看護を提供するという考えが出てきました。

そして、2015 年 10 月、「特定行為に係る看護師の研修制度」が施行され、看護師によるタイムリーな医療・看護を提供する機会が得られました。その後、訪問看護だけではなく、病院医療の現場でも特定行為を行う看護師が必要とされるようになりました。

<背景>

本院は入院病床 855 床の先進医療を行う高度急性期病院です。年間外来患者数は約 534,000 人、手術件数は約 9,700 件で、臓器移植、先天性心疾患などハイリスクな手術を多く行っており、術中・術後の管理は患者の回復に大きく影響します。特に、変化が激しい術後は、24 時間ベッドサイドにいる看護師の存在が重要です。特定行為を行う看護師であれば、術後の状態の変化に素早く気付くだけではなく、必要な処置を医師を待たずに行ったり、患者に合わせてタイムリーに行うことができます。これによりハイリスクな術後患者にもより早期の回復が望めます。ハイリスク手術を多く実

PRESS RELEASE

施している本院においては、特定行為を行う看護師が必要となってくるものと考えます。

<研究内容、業績>

本院は 2019 年度に看護師特定行為の指定研修機関として承認され、2020 年度 4 月から開講となります。内容としては、手術中に関わる 8 行為をまとめた術中麻酔管理領域別パッケージ研修と、手術後に関わる 15 行為をまとめた外科術後病棟管理領域別パッケージ研修の 2 つで、研修期間は約 1 年です。指導体制として、指導医・専門医資格を有する医師や、専門看護師・認定看護師など、指導経験が豊富な人材が指導にあたります。また、使用可能なネット環境や学内の図書館、看護部の図書室、本学の医歯薬融合型教育研究棟のシミュレーションセンターなど、学習環境を整備しています。

研修のうち共通科目・区分別科目は、e-learning を主体とし、受講生が勤務と両立しながら、自宅や職場のパソコン等を利用し学習することができます。共通科目に限定すると、放送大学での履修も認めています。また演習は本学の豊富なシミュレーターを活用しながら、実践的かつ高度な知識と技術が身につく研修を行います。

特定行為研修により医学的知識・技術を強化した上で、看護を基盤にした質の高い医療・看護が提供できるものと期待されます。



シミュレーターの 1 例

<展望>

本院では看護師特定行為研修を通じて、高度医療の場において、特定行為を行う看護師としての社会的責任と役割を自覚しながらチーム医療のキーパーソンとして高度な臨床実践能力を発揮し、新たな看護の発展に寄与することのできる看護師を育成したいと考えています。

また SDGs の発想に立ち、特定行為を行う看護師を継続的に育成、醸成する仕組み作りにも努めていきたいと考えます。

PRESS RELEASE

<略歴>

1962年生まれ。1984年岡山大学医学部附属看護学校卒業。同病院に就職。手術部、集中治療部、婦人科病棟、治験推進部、消化管・肝胆膵外科病棟、泌尿器科・消化器内科病棟などに勤務。

■補足・用語説明

注1)：専門看護師

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師。保健医療福祉の発展に貢献し、併せて看護学の向上を図ることを目的としています。

注2)：認定看護師

特定の看護分野において、熟練した看護技術及び知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師。看護現場における看護ケアの広がり、質の向上を図ることを目的としています。

<ホームページ（看護教育センター）>

<https://ebn-jisedai.com/education3/>

<お問い合わせ>

岡山大学病院看護部 看護部長 宗宮 昌子
(電話番号) 086-235-7800
(FAX) 086-235-7810



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。